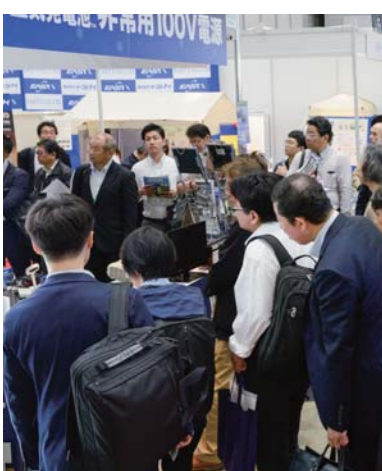


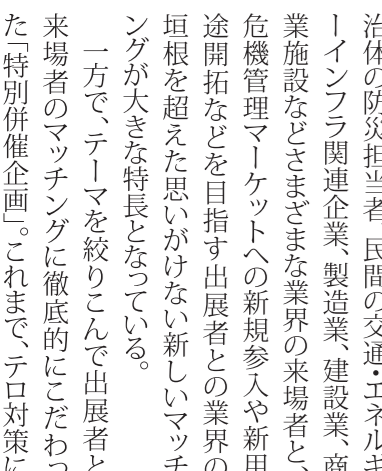
# 今秋、青海展示棟で規模拡大して開催



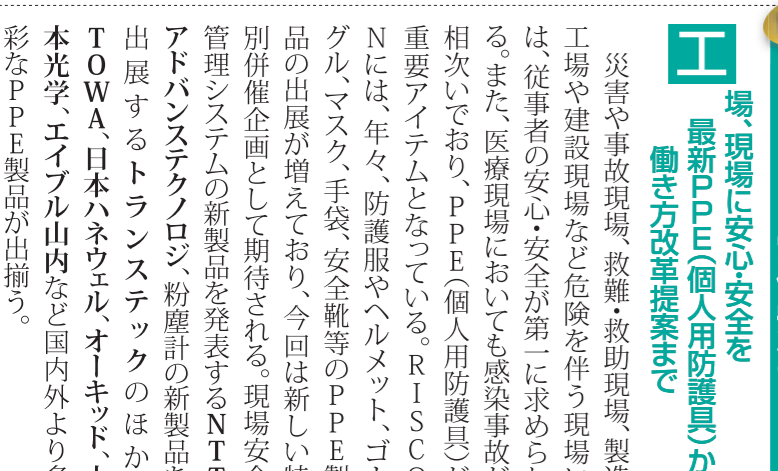
青海展示棟 (東京ビッグサイト)  
〒135-0064 東京都江東区青海1-2-33 ※前回と会場、最寄駅が異なります



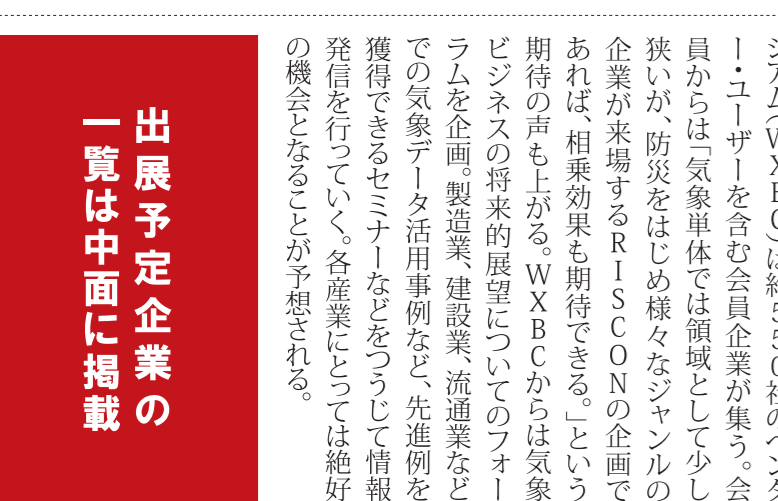
「労働安全」「気象ビジネス」をテーマにした新企画も



「労働安全」「気象ビジネス」をテーマにした新企画も



「労働安全」「気象ビジネス」をテーマにした新企画も



「労働安全」「気象ビジネス」をテーマにした新企画も

**会** 場は4月にオープンした青海展示棟(東京ビッグサイト)西ホールから青海(あおみ)展示棟に会場を移しての開催が決まった。4月にオープンしたばかりの青海展示棟だが、会場へのアクセスは向上、各交通機関も充実している。昨年までは西ホール・アトリウム・会議棟の3箇所で開催とセミナーを実施していたが、今年はA・Bホールあわせて会場規模が2.4万㎡とこれまでより拡大するため、登録所、展示会場、セミナー会場はもろろん、特別テーマ展示、実演・体験コーナーやBCP・BCM相談コーナーなどの出展者来場者交流企画などもワンフロアで休感をもつての配置が可能となった。東京2020前の最後の開催となり、注目が高まるは必至で、3日間を通して約2万名の来場者を見込む。

**相** 次々自然災害異常気象災害対策の新たな課題が浮き彫りに  
昨年は、西日本豪雨や台風により大きな被害が発生。道路、トンネル、橋、堤防や電気、水道、ガスなどのインフラ設備の老朽化があらためて問題となったほか、朝のラッシュ時を襲った大阪北部地震における交通インフラの混乱や激増する外国人観光客への情報発信不足。さらには北海道胆振東部地震が発生した大規模停電など、災害対策の新たな課題が浮き彫りになった年でもあった。また、いつ起きてもおかしくない南海トラフ地震、首都直下地震の対策は待たなしの状況にあつて、今年RISCONでは、喫緊の課題として「緊急時の電気・エネルギー確保」、緊急時の情報発信・通信、「国土強靱化 重要インフラの機能維持」、「災害時要配慮者向け」資機材・サービス」を特別テーマに設定。出展者展示と主催者セミナーの連動企画とすることで、全国から集まる自治体や企業の危機管理担当者の多様なニーズに応える。

**R** 「労働安全」「気象ビジネス」をテーマにした新企画も  
RISCONは、治安関係者や国・自治体の防災担当者、民間の交通エネルギーインフラ関連企業、製造業、建設業、商業施設などさまざまな業界の来場者と、危機管理マーケットへの新規参入や新用途開拓などを目指す出展者との業界の垣根を超えた思いがけない新しいマッチングが大きな特長となっている。

**工** 最新PPE(個人用防護具)から働き方改革提案まで  
災害や事故現場、救難救助現場、製造工場や建設現場など危険を伴う現場には、従事者の安心・安全が第一に求められる。また、医療現場においても感染事故が相次いでおり、PPE(個人用防護具)が重要なアイテムとなっている。RISCONには、年々、防護服やヘルメット、ゴーグル、マスク、手袋、安全靴等のPPE製品の展示が増えており、今回は新しい特別併催企画として期待される。現場安全管理システムの最新製品を発表するNITTアドバンステクノロジ、粉塵計の新製品を展示するトランステックのほか、TOWA、日本ハネネル、オーキッド、山本光学、エイブル山内など国内外より多彩なPPE製品が出揃う。

**産** 学官連携による新市場創出が企画協力の  
企業協力の気象ビジネス推進コンソーシアム(WXBC)は約550社のベンダー・ユーザーを含む会員企業が集う。会員からは「気象単体では領域として狭いが、防災をはじめ様々なジャンルの企業が来場するRISCONの企画であれば、相乗効果も期待できる。」という期待の声も上がる。WXBCからは気象ビジネスの将来の展望についてのフォーラムを企画。製造業、建設業、流通業などでの気象データ活用事例など、先進例を獲得できるセミナーなどをつづいて情報発信を行っていく。各産業にとっては絶好の機会となること予想される。

**国** 内催のテロ対策専門展 来場者限定のコーストショー  
SEECATには、国内外からテロ対策に関する最新鋭の特殊資機材やシステム・サービス・情報情報。今年には東京2020前の最後の年となることから、各社も最後のPRに余念がない。トータルセキュリティ企業のクマヒラは、今年RISCONに出展者では最大のスペース(10小間)となり、防災企業

**国** 際イベント続く2019年 皇室行事、サミット、ラグビーワールドカップ  
周囲を海に囲まれた日本では、エネルギー関連の重要施設や大型集客施設などが臨海部に立地するケースが多い。東京2020会場も臨海部が多いため、海上からのテロへの警戒が重要となる。テロリスト等の入国や武器の流入を防ぐためには、国際空港・港湾において出入国審査、輸出入貨物の検査等の水際対策を徹底することが重要だ。2020年を見据えた関連資機材の需要も膨らんでいる。

**今** 年のサイバーセキュリティのキーワードは「重要インフラ」  
「2020年のビッグイベントを控え、サイバー空間のセキュリティ対策も佳境。特に今年力を入れているのは「重要インフラ」と「東京2020」だ(システムベンダー担当者)。「各社のターゲットユーザーが錯綜する同業界だが、今年は一様に注目が集まることは必至で、本企画への期待が高まっている。」

**気** 象関連ビジネスサービスが集結 気象測器、情報配信からデータ活用ビジネスまで  
気象データは、社会の基盤情報としてあらゆる産業において重要な役割を担っている。災害対策、交通エネルギー等重要インフラのリスク対策はもろろんのこと、製造業の生産管理、流通業の需要予測、建設業の作業計画策定など、昨今では気象データをビッグデータとして活用する動きが加速している。今回、気象ビジネス推進コンソーシアム(事務局:気象庁)の企画協力のもと、「気象ビジネス」に着目した特別併催企画を新たに打ち出した。気象のモニタリング・計測から気象情報の分析に関するシステムや関連資機材など、「気象」をキーワードとした製品サービスなどが一堂に集う注目の展示エリアとなる。気象測器のANEOS(旧社名:日本エレクトロニクス)と、風速計のソニックシステム関連を扱うくらインターネット、伊藤忠商事/伊藤忠アービエーションからは日本初公開の気象情報提供サービスが紹介される。

**出展最終受付中**  
事務局には、出展申込締切後も依然問い合わせが続いており、現在最終受付中となっている。出展スペースに限りがあることから出展に関心のある企業はまずは電話かメール等で直接連絡してほしいとしている。展示会の詳細は事務局まで。

# テロ対策・サイバーセキュリティの専門展に高まる期待

**東京2020開催を直前に控え**  
RISCONの展示分野のもう一つの基軸「セキュリティ」。地域の防犯からハイスpekなテロ対策としてサイバーセキュリティまで様々な企業が集う。とりわけ、東京2020を目前にテロ対策の専門展「SEECAT」・サイバー空間のセキュリティワールド」は関係者の注目が集まる。

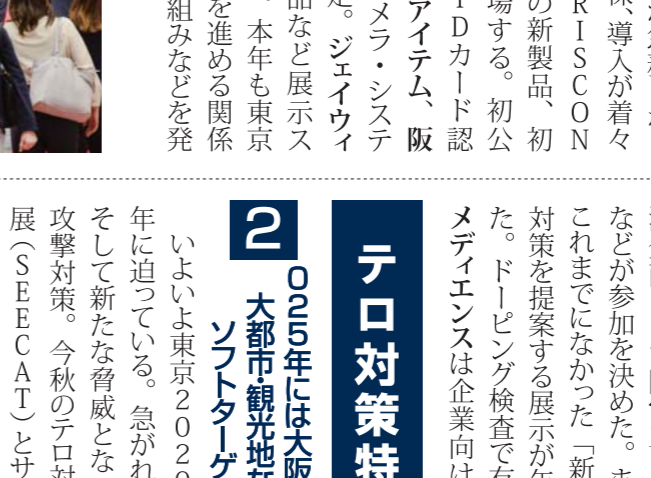
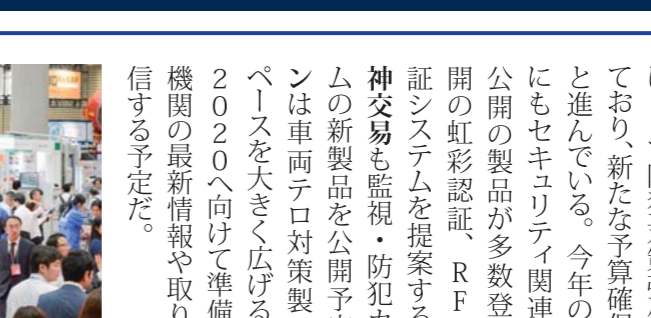
**交** 通機関、学校、病院、商業施設などで事故や犯罪相次ぐ  
公共交通機関や学校・病院、大型集客施設などの無差別犯罪・事故が多発している。鉄道、空港など集客施設は防犯カメラ設置を積極的に進めている。自治体や企業にとつて防犯対策強化が急務となっており、新たな予算確保、導入が着々と進んでいる。今年RISCONにもセキュリティ関連の新製品、初公開の製品が多数登場する。初公開の虹彩認証、RFIDカード認証システムを提案するアイテム、阪神交通も監視・防犯カメラ・システムの新製品を公開予定。ジェイコムは車面テロ対策製品など展示スペースを大きく広げる。本年も東京2020へ向けて準備を進める関係機関の最新情報や取り組みなどを発信する予定だ。

**2** 019年には大阪万博も 大都市観光地などのソフトウェアターゲット警戒方針  
いよいよ東京2020の開催が来年に迫っている。急がれるテロ対策として新たな脅威となったサイバー攻撃対策。今年RISCONのテロ対策特別展「SEECAT」とサイバーセキュリティワールドには、積極的な企業の新規出展と来場を希望する国内外の関係者からの問い合わせが途切れない。

**国** 自治体から中小企業まで問われるサイバーセキュリティ対策  
サイバー空間では大企業や政府だけでなく、中小企業や個人、さらにはモノまでが常時標的とされており、セキュリティ対策は急務となっている。サイバーセキュリティワールドは、RISCON特別併催企画として4日間の開催。RISCONと同時開催により、SEECATと同時に開催により、来場する国・自治体や、重要インフラ関係者、中小企業の経営者にとつては、「サイバーセキュリティ対策が新たな課題」となった。本年は、さらに注目が集まることは必至で、本企画への期待が高まっている。

**今** 年のサイバーセキュリティのキーワードは「重要インフラ」  
「2020年のビッグイベントを控え、サイバー空間のセキュリティ対策も佳境。特に今年力を入れているのは「重要インフラ」と「東京2020」だ(システムベンダー担当者)。「各社のターゲットユーザーが錯綜する同業界だが、今年は一様に注目が集まることは必至で、本企画への期待が高まっている。」

**出展最終受付中**  
事務局には、出展申込締切後も依然問い合わせが続いており、現在最終受付中となっている。出展スペースに限りがあることから出展に関心のある企業はまずは電話かメール等で直接連絡してほしいとしている。展示会の詳細は事務局まで。



**セキュリティ**  
非やサイバー攻撃などの新たな脅威、相次ぐ社内不正などの企業不祥事やコンプライアンス問題など、事業活動を脅かすリスクはますます複雑多様化している。この「想定外」への対応が事業継続の力となり、企業は危機管理能力とレジリエンス力があらためて問われる時代だ。今年RISCONは来場者向けサービスとして無料の「BCP・BCM相談コーナー」を新設。出展者と来場者の交流企画として関電工、東電、ユエルなどが参加を決めた。また、最近では「想定外」になった「新たなリスク」対策を提案する展示が年々増え、ドメイン検査で有名なLSIメディアエンズは企業向けに薬物検査

**国** 際イベント続く2019年 皇室行事、サミット、ラグビーワールドカップ  
周囲を海に囲まれた日本では、エネルギー関連の重要施設や大型集客施設などが臨海部に立地するケースが多い。東京2020会場も臨海部が多いため、海上からのテロへの警戒が重要となる。テロリスト等の入国や武器の流入を防ぐためには、国際空港・港湾において出入国審査、輸出入貨物の検査等の水際対策を徹底することが重要だ。2020年を見据えた関連資機材の需要も膨らんでいる。

**国** 自治体から中小企業まで問われるサイバーセキュリティ対策  
サイバー空間では大企業や政府だけでなく、中小企業や個人、さらにはモノまでが常時標的とされており、セキュリティ対策は急務となっている。サイバーセキュリティワールドは、RISCON特別併催企画として4日間の開催。RISCONと同時開催により、SEECATと同時に開催により、来場する国・自治体や、重要インフラ関係者、中小企業の経営者にとつては、「サイバーセキュリティ対策が新たな課題」となった。本年は、さらに注目が集まることは必至で、本企画への期待が高まっている。

**国** 際イベント続く2019年 皇室行事、サミット、ラグビーワールドカップ  
周囲を海に囲まれた日本では、エネルギー関連の重要施設や大型集客施設などが臨海部に立地するケースが多い。東京2020会場も臨海部が多いため、海上からのテロへの警戒が重要となる。テロリスト等の入国や武器の流入を防ぐためには、国際空港・港湾において出入国審査、輸出入貨物の検査等の水際対策を徹底することが重要だ。2020年を見据えた関連資機材の需要も膨らんでいる。

**国** 自治体から中小企業まで問われるサイバーセキュリティ対策  
サイバー空間では大企業や政府だけでなく、中小企業や個人、さらにはモノまでが常時標的とされており、セキュリティ対策は急務となっている。サイバーセキュリティワールドは、RISCON特別併催企画として4日間の開催。RISCONと同時開催により、SEECATと同時に開催により、来場する国・自治体や、重要インフラ関係者、中小企業の経営者にとつては、「サイバーセキュリティ対策が新たな課題」となった。本年は、さらに注目が集まることは必至で、本企画への期待が高まっている。

**基調講演・セミナー**  
実際のセミナープログラムにも期待 基調講演ゲストには 森本敏氏が内定  
昨年のべ4600名が聴講したセミナープログラムにも注目が集まる。会期初日の10月2日は基調対談のゲストに元防衛大臣の森本敏氏が内定したほか、気象・火山関係の基調講演や毎年恒例の東京都の危機管理をテーマにしたパネルディスカッションを予定している。2日目を以降も、本年は各出展者の「特別テーマ」展示と連動した主催者セミナーを予定。すべてのプログラムが出揃う8月頃より事前聴講予約の受付を行う。

<b>RISCON TOKYO</b>	キャラバン 旭日建設 防水門事業部 緊急地震速報利用者協議会	シマンテック 昭電 神鋼造機 信防エディックス スター商事 スターリング ストアネット ※フジシステムズ Spectee スリーディー 世田谷工業振興協会 セブンスピーズプラネット センシンメディカル センチュリー 総合サービス ソニック	※アイン ※セームページ ※ファンクション ※スペースリー ※海洋先端技術研究所 ※スペースタイムエンジニアリング ※ミエルカ防災 ※トーテツ ※日本耐震設計 ※三英社製作所 ※イガラシ ※PIJIN ※ビット・パーク ※イトラスト 東光鉄工 東電フュエル トーガシ トーフ安全工業 トーフ トーヨーセフティー TOWA トライリンクス トランステック	日本ユニシス ※ヤマダ電機 日本ライフライン <b>は</b> ハタヤリミテッド パナソニックシステムソリューションズ ジャパン 浜口ウレタン パル技研 阪神素地 阪神交易 ピーエスアイ ※ダークトレース・ジャパン PD ジャパン ブイキューブ 福島県廃炉・災害対応ロボット研究会 富士グループ フジデノロ フジトク 船山 プロテック ペルフォアジャパン 防衛省・陸上自衛隊 東部方面総監部 防災科学技術研究所 ホープ 細谷火工	横田瀝青興業 吉川工業 ヨネ <b>ら</b> リカバリープロ 理経 理研化機工業 リベルタ リンコー レッツ・コーポレーション <b>わ</b> ワンテック <b>海外</b> ATG Lanka(PVT) CYBER X Lenzing Fibers (Hong Kong) Paulson International Suprema InSpace	オプテックス <b>か</b> 極東貿易 クマヒラ グローリー K.J. フェロー ケーイーエム ゲネシス コンマース ケンコー・トキナー 公安調査庁 コーンズテクノロジー <b>さ</b> サイバーディフェンス研究所 サノヤス・エンジニアリング ※帝金 ※ATG ACCESS 七洋交産 篠田商会 ジャパンセル ジャパンマシナリー JALUX 凶研ネットウエイブ セキュリティ ※ノーベルアームズ ※日本特機装 ソニービジネスソリューション ソリッド・ソリューションズ ソリトンシステムズ	日本エンジニアリング貿易 日本工機 日本サーキット 日本スリービー・サイエンティフィック ネクス光洋 <b>は</b> ハイテクインター パブリックシステム FOUND FOUR フジタ医科器械 富士電機 富士フィルム 船山 ポニー工業 Bohemia Interactive Simulations <b>ま</b> 松田通商 三井物産エアロスペース 三菱電機 三菱長崎機工 MIRAI-LABO <b>や</b> ヤシマ電気 <b>ら</b> リアルビズ リガク 理経 理研計器 ロボティクス・センター ジャパン ※シマヅプレジジョンインストルメンツ <b>わ</b> ワイ・シーソリューション <b>海外</b> Iris ID East Gear (International) Corp Limited Mehler Vario System MSAB ※MSAB Japan
<b>あ</b>	※ANET ※JFE コムサービス ※ストラテジー ※J コーポレーション 空撮技研 クオリティソフト クリロン化成 光永 高知県産業振興センター ※オサシ・テクノス ※関西仮設 ※大紀商事 ※大協工産 ※タナカショク ※電温 ※マシュール ※フロムハート ゴールドウイン コーワテック 国際航業	<b>た</b> 大学産業 高崎精器 タキガワ・コーポレーション・ジャパン TASKMATE ダブルエー・ホールディングス 中央ジオマチックス ティーエフサービス 帝健 テクノグリーン販売 テレネット 東京ガスエンジニアリングソリューションズ 東京商工社 東京都中小企業振興公社 ※ライフセンサー ※NCC コンサルティング ※ニソク ※チャレンジ ※ストラテジー ※アールシーソリューション ※コアシステムジャパン ※プラムシステム ※トップウォーターシステムズ ※日本マルチメディア・イクイップメント ※エムアイメイズ	※アイン ※セームページ ※ファンクション ※スペースリー ※海洋先端技術研究所 ※スペースタイムエンジニアリング ※ミエルカ防災 ※トーテツ ※日本耐震設計 ※三英社製作所 ※イガラシ ※PIJIN ※ビット・パーク ※イトラスト 東光鉄工 東電フュエル トーガシ トーフ安全工業 トーフ トーヨーセフティー TOWA トライリンクス トランステック <b>な</b> 西田製函 日栄インテック 日動工業 日本エンコン 日本海洋 日本潜水機 日本ケーブルテレビジョン 日本災害食学会 日本大学 危機管理学部 日本デジコム 日本電子工学 日本ハネウェル 日本BCP 日本ファシリティマネジメント協会 日本防災士会 ※防災士研修センター ※日本防災士機構	RS ダイナミックス アイ・アール・システム 赤尾 アライドテレシス アルウェットテクノロジー イームズロボティクス イオンインターナショナル インフォマティクス エーティ コミュニケーションズ エクセル エス・イー・エイ エス・ティ・ジャパン エム・イー・ジェー 江守情報 オーストリッチインターナショナル オプティカニクス	アールアンドアール アイコム ※田中電気 ※ウェッジ ※三和システムサービス アイテックス アイテム あかつき 暁電工 アキレス アコードインターナショナル 旭・デュボンフラッシュスパン プロダクツ ANEOS (旧社名:日本エレクトリック・インスルメント) アルインコ 電子事業部 イーズライフ イー・ダブリュ・エス 伊藤忠商事 / 伊藤忠アビエーション 移動無線センター エイアンドエイティ エイブル山内 ASIS インターナショナル 日本支部 エスエスボディガード NTT ラーニングシステムズ NTT テクノクロス NTT アドバンステクノロジー FS・JAPAN エフェッシェル LSI メディエンス オーキッド オグラ オラフォルジャパン オルテック <b>か</b> カグラベーパーテック 関電工 戦略技術開発本部 戦略事業ユニット 気象庁 気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) 事務局	アールアンドアール アイコム ※田中電気 ※ウェッジ ※三和システムサービス アイテックス アイテム あかつき 暁電工 アキレス アコードインターナショナル 旭・デュボンフラッシュスパン プロダクツ ANEOS (旧社名:日本エレクトリック・インスルメント) アルインコ 電子事業部 イーズライフ イー・ダブリュ・エス 伊藤忠商事 / 伊藤忠アビエーション 移動無線センター エイアンドエイティ エイブル山内 ASIS インターナショナル 日本支部 エスエスボディガード NTT ラーニングシステムズ NTT テクノクロス NTT アドバンステクノロジー FS・JAPAN エフェッシェル LSI メディエンス オーキッド オグラ オラフォルジャパン オルテック <b>か</b> カグラベーパーテック 関電工 戦略技術開発本部 戦略事業ユニット 気象庁 気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) 事務局	アールアンドアール アイコム ※田中電気 ※ウェッジ ※三和システムサービス アイテックス アイテム あかつき 暁電工 アキレス アコードインターナショナル 旭・デュボンフラッシュスパン プロダクツ ANEOS (旧社名:日本エレクトリック・インスルメント) アルインコ 電子事業部 イーズライフ イー・ダブリュ・エス 伊藤忠商事 / 伊藤忠アビエーション 移動無線センター エイアンドエイティ エイブル山内 ASIS インターナショナル 日本支部 エスエスボディガード NTT ラーニングシステムズ NTT テクノクロス NTT アドバンステクノロジー FS・JAPAN エフェッシェル LSI メディエンス オーキッド オグラ オラフォルジャパン オルテック <b>か</b> カグラベーパーテック 関電工 戦略技術開発本部 戦略事業ユニット 気象庁 気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) 事務局

## RISCON TOKYOに2つの新企画! 今秋、東京ビッグサイト青海展示棟で開催

10.2<sup>水</sup> - 10.4<sup>金</sup>  
WED - FRI

災害、犯罪、あらゆるリスクに対処する

Risk Control in Tokyo  
**RISCON**  
TOKYO  
危機管理産業展2019  
Security & Safety Trade Expo

**SEECAT**  
Special Equipment Exhibition & Conference for Anti-Terrorism  
テロ対策特殊装備展

**PPE・労働安全**  
フェア

**CYBER SECURITY WORLD**  
サイバーセキュリティワールド

**気象ビジネス**  
サミット

出展にご関心のある方は、至急ご返信ください。

📍 展示会出展のご意向についてお知らせください

関心の高い展示会に  を入れ、( )内にご記入ください

危機管理産業展 (RISCON)       PPE・労働安全フェア  
 サイバーセキュリティワールド       気象ビジネスサミット  
 テロ対策特殊装備展 (SEECAT)

1. 出展予定 ( )小間    決定時期 ( )月頃  
 2. 資料送付希望  
 3. 詳しく内容を知りたい (後日、担当者よりご連絡いたします)

**FAX: 03-3503-7620 Mail: ofc@kikikanri.biz/ofc@seecat.biz**

会社名 \_\_\_\_\_

部署・役職 \_\_\_\_\_

氏名 **名刺** \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_